第一礼拝次第

ﾒｯｾｰｼﾞ：渡真利彦文牧師
ﾌﾟﾚｲｽﾘｰﾄﾞ:郭永東牧師

前　奏		
頌　栄	５４０	会　衆
主の祈り		会　衆
プレイズ	「心に感謝を持ちながら」	会　衆
	「主イエス様はぶどうの木」	
聖書朗読	ローマ 12：9～21	司　会
祈　祷	（新約聖書ｐ292）	司　会
賛　美	９０	会　衆
メッセージ	「すべての人と平和に」	牧　師
祈　祷		牧　師
賛　美	８６	会　衆
入会式		
聖餐式		
献　金		
報　告	新生６７２b	司　会
頌　栄		会　衆
祝　祷		牧　師

♪～♪～♪～♪～♪～♪～♪～

第二礼拝次第

ﾒｯｾｰｼﾞ：郭永東牧師

聖書：ホセア書６：1～11（旧約聖書 p1409）
ﾒｯｾｰｼﾞ：「礼拝か、愛か」
ﾌﾟﾚｲｽﾞ：「平和初めて知った」
「大波のように」
賛　美：新生１４　新生３００

♪～♪～♪～♪～♪～♪～♪～

ファミリー礼拝

ﾒｯｾｰｼﾞ：渡真利彦文牧師

聖　書：ルカ２：41～52
ﾒｯｾｰｼﾞ：「少年イエス」

＜巻頭言＞

「過ぎた一週間」
牧師　渡真利彦文

6 月 23 日（金）は慰霊の日。沖縄県では官庁や学校はお休みとなる。教会、幼稚園もお休みとなった。その日午後からは家の芝刈りや周りの雑草などを刈り取った。少々疲れたが、久しぶりに気持ちの良い汗を流した。

翌日 24 日（土）は愛星幼稚園教師の結婚式。朝 10 時過ぎ、山と海に囲まれた野外チャペルでの結婚式が晴天の中、祝福の内に執り行われた。続く披露宴には、両家のご家族、親族、友人知人の二人へのお温かい眼差しの中、宴は喜びの顔で満ち溢れたていた。

わたしたち夫婦も喜びを携えながら家路についた。その夕方から高熱に襲われ日曜日の礼拝を休まざるを得なかった。コロナに感染したことが分かった。コロナの症状は高熱、倦怠感、咳を伴った。高熱は 39 度前後を行き来し、咳も力を奪い取るように感じた。

倦怠感に伴うことだと思うが、丸二日間、自分の力で身体を保つことが難しく、今まで感じたことのない脱力感を覚えた。さらに不思議なことだが、現実の場面と夢で見るような場面が重なり、今自分はどこにいるのかと夢と現実を行き来するような経験をした。

普段当たり前のように働き、学び、生活するが、自分の力で歩んでいるのではないと本当に気づかされた。コロナ感染を経験する中で主は大事な語りかけをしてくださった。

コロナ禍も 3 年を過ぎ、多くの方々が同様につらい経験をされたことでしょう。主の守りと支えが豊かに注がれるよう祈ります。